

令和元年第 4 回定例会

日程：12月3日～12月10日

◎：全員賛成 ○：賛成多数 ×：反対多数

結果
掲載ページ

傍聴人数 23 人 議会中継視聴回数 175 回 (1/21 現在)

【議員提案】			
令和元年台風 19 号等からの復旧・復興に向けた対策を求める意見書	◎	—	
「あおり運転」に対する厳罰化とさらなる対策の強化を求める意見書	◎	—	
【専決処分】			
一般会計補正予算（第 4 号） 姉妹都市大崎市における災害に対し、対応に係る経費を補正し専決処分をしたので、報告し承認を求めるもの	◎	p.9	
【補正予算】			
一般会計補正予算（第 5 号） 3 億 8,586 万円を増額し、総額を 113 億 5,392 万円とするもの	◎	p.9	
国民健康保険特別会計補正予算（第 1 号） 7,155 万円を増額し、総額を 21 億 4,144 万円とするもの	◎	p.9	
後期高齢者医療特別会計補正予算（第 1 号） 188 万円を増額し、総額を 2 億 3,741 万円とするもの	◎	—	
下水道事業特別会計補正予算（第 1 号） 163 万円を減額し、総額を 8 億 9,846 万円とするもの	◎	—	
水道事業会計補正予算（第 1 号） 収益的支出で給料を 13 万円増額等するもの	◎	—	
【人事案件】			
選挙管理委員会委員及び補充員の選挙について 地方自治法の規定により議会が指名推選するもの 【委員】高橋 雄三 氏、木屋路 喜代史 氏 千田 良子 氏、堤 和弘 氏 【補充員】第 1 順位…泉 吉満 氏 第 2 順位…明石 実 氏 第 3 順位…大越 茂樹 氏 第 4 順位…神田 設 氏	◎	—	
教育委員会委員の任命について 任期満了となる寺田 郷子 氏を再任するもの	◎	—	
人権擁護委員の候補者の推薦について（2 件） 任期満了となる橋本 俊一 氏及び宮崎 直高 氏を再推薦するため、議会の意見を求めるもの	◎	—	
【条例】			
当別町職員の給与に関する条例の一部改正 職員の給与の改定等を行うため、条例の一部を改正するもの	◎	—	
地方公務員法及び地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例制定 地方公務員法及び地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴い、関係条例の一部を改正するもの	◎	—	
当別町会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例制定 地方公務員法等の一部改正に伴い、会計年度任用職員の給与及び費用弁償について条例で定める必要があるため、条例を制定するもの	◎	—	
【請願・陳情】			
《令和元年第 3 回定例会（9 月）総務文教常任委員会へ付託》 核兵器禁止条約の日本政府の署名と批准を求める意見書の採択を求める請願書 〔提出者〕新日本婦人の会当別支部 支部長 佐藤 美智子 他 4 団体 〔紹介議員〕当別町議会 議員 澁谷 俊和、議員 鈴木 岩夫	不採択	p.14 討論①	
《令和元年第 3 回定例会（9 月）産業厚生常任委員会へ付託》 マクロ経済スライドの廃止で「減らない年金」の実現を求める意見書の採択を求める請願書 〔提出者〕全日本年金者組合当別支部 支部長 相馬 ひろ子 他 4 団体 〔紹介議員〕当別町議会 議員 鈴木 岩夫	不採択	p.14 討論②	
《令和元年第 4 回定例会（12 月）産業厚生常任委員会へ付託》 屋根が平らでストレートに雪が落ちる古い町営住宅に、玄関フードを設置してもらおう、あるいは、既に玄関フードを設置した家庭に対しては、その費用を支払ってもらおう陳情 〔提出者〕荒田 讓	継続	—	

討論 ①
核兵器禁止条約の日本政府の署名と批准を求める意見書の採択を求める請願書

採択すべき 鈴木議員



国内外の連帯を強め、核兵器のない世界を実現するために力を尽くすべき。

不採択すべき 山田議員



条約の参加は、アメリカの抑止力を損ない、結果、日本国民の生命・財産が危険にさらされる。

採択すべき 澁谷議員



広島、長崎だけでなく、水爆実験で第五福竜丸の船長含めて日本人が大きな被害を受けている。

不採択すべき 高谷議員



日本は、核保有国のアメリカと安全保障条約を締結している同盟国。現政府の立場を支持する。

採択すべき 島田議員



日本は、核兵器に頼らない安全保障環境をつくり出すよう強いリーダーシップをとるべき。

不採択すべき 岡野副議長



日本は核兵器拡散防止条約、核軍縮のもとに新たな枠組みで世界に核不拡散を呼びかけるべき。

【賛否が分かれた採決の公表】

櫻井	佐々木	西村	五十嵐	鈴木	山崎	秋場	澁谷	山田	古谷	稲村	高谷	島田	岡野
○	○	○	○	×	○	○	×	○	○	○	○	×	○

※議長は議事進行を行うため賛否表明はしません。
※「—」は退席。

討論 ②
マクロ経済スライドの廃止で「減らない年金」の実現を求める意見書の採択を求める請願書

採択すべき 鈴木議員



現役世代の賃上げや正社員化による保険料収入のアップなどで年金財政の改善を進めるべき。

不採択すべき 稲村議員



持続可能な年金制度として維持するためにマクロ経済スライドは必要な制度。

【賛否が分かれた採決の公表】

櫻井	佐々木	西村	五十嵐	鈴木	山崎	秋場	澁谷	山田	古谷	稲村	高谷	島田	岡野
○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※議長は議事進行を行うため賛否表明はしません。
※「—」は退席。

町民との懇談で多くの要望

～第13回議会報告会～

令和元年11月18日(月)に、議会改革の一環として、より開かれた議会を目指し、第13回議会報告会を総合保健福祉センターゆとろで開催しました。

今回の議会報告会は、新しい総合計画策定にあたり、町がヒアリングを実施した14団体を対象に、定例会や臨時会の報告と「新し

い当別町総合計画に関するフリートーク」と題した懇談が行われ、参加された町民の皆様から、たくさんの要望などをいただきました。

なお、いただいた要望については、総合計画に反映していただくよう12月10日(火)に後藤議長から宮司町長へ提出しました。要望については、以下のとおりです。

成年後見支援センター

・石狩管内では、当別町と新篠津村を除き、全市が設置済みとなっており、潜在的なニーズは現時点でもあるので、制度の利用を促進していくためには、専門職を配置した上で成年後見制度に関する相談対応や申し立て等の支援をしっかりとできる体制を整え、加えて市民後見人の養成や活動の支援、住民の醸成、町民への制度の普及啓発などを総合的に行う「成年後見支援センター」を早急に設置するなど体制強化を期待している。

観光

・観光の戦略について、当別町として観光をどう位置づけるのか。目標を計画の中で明らかにしたほうが良いと考えている。
・観光協会の組織について会長はいるが事務局は役場の職員となっており、人事や予算など会長の判断では難しいことがある。観光協会を民間化、社団法人にするなどそういう方向性で考えてみてはどうかという結論に至った。そうすると観光のエキスパートを育てることができる。
・150年を機会に歴史看板の設置や自然の看板など町の特徴がわかるような看板があると観光的に親切的な設備となると思う。

学校教育とスポーツ団体の連携

・学校教育とスポーツ団体の連携を深め、子どもたちの潜在能力を引き出し、良好なスポーツ環境を創出するというのを盛り込んでいただきたい。

人材育成

・町内に北海道医療大学がある優位性を活かし、高大連携、高大の付属化、小中高の連携等を含め、当別から人が流出しないよう、人材育成に取り組むことを主眼に置いていただきたい。

福祉教育

・小中一体型義務教育学校が設立され、独自の一貫したカリキュラムを策定する中で、小学校低学年のうちから福祉というものについて、心を醸成するようなものを当別の教育の柱としていただきたい。

良好なスポーツ環境の創出

・グループインタビュー時に要望した『子供から高齢者まで、スポーツを通じた健康づくりを推進していきたい。』を『幼少期から生涯にわたる運動習慣の確立を目指し、スポーツを通じた健康づくりを推進したい。』という文言に修正していただきたい。

文化・スポーツ活動の振興

・近年、児童数の減少に伴い、スポーツ少年団の人数が減ってきており、当別と太美地区に2チームあったのが、統合を余儀なくされている。このことに対して町の支援を検討していただきたい。
・今後、小学校が新しくなるので、課外活動、スポーツ活動についても総合計画に盛り込んでいただきたい。

地域福祉の推進(移動支援)

・移動支援について、小さな事業所だけでなく、社協のヘルパーステーションの方たちや福祉タクシーをやっていただいている方たち等と力を合わせながらニーズにこたえられるような具体的に協議する場を設けていくことが必要と思っている。「移動(移送)支援」は、喫緊の課題である。計画の中で具体的な形にしてほしい。
・要支援の方が災害にあった場合、どのような形で情報が得られるのか、次に情報が得られたときに誰がその方たちに手を差しのべるのか、自分たちだけでいけない方の支援の形を早急に作っていただきたい。

新しいまちの顔づくりプロジェクト

・第5世代移動通信システムもかなり具体的なことが書かれているが、10年後どうなっているかわからないと思うので、文言をもう少し精査した方がよい。

農業人口の減少対策

・老朽化した町営住宅の跡地を利用し、無償で提供するなどして人口を守ることも大切だと思う。今、若い当別の農業者は、結婚すると江別や札幌に住居を求めて出て行ってしまう。農業人口が減っていく中で、なおかつ農業者が外に出てしまう状況である。当別町の人口を減らさない対策を要望する。

校舎一体型義務教育学校を視察

10/24・25 道内所管事務調査

白糠町では、小中一貫教育と一体型義務教育学校「白糠町立庶路学園」について、標茶町では、子育て世帯への支援について視察を行いました。



一体型義務教育学校「白糠町立庶路学園」

地元木材 100%の新庁舎を視察

10/28・29 道内所管事務調査

芽室町では平成31年に策定し、東神楽町では平成30年に策定した立地適正化計画について、当麻町では、平成30年に地元木材を100%使った新庁舎建設について視察を行いました。



当麻町の役場庁舎

議会のうごき（令和元年11月～令和2年1月）

11月 14日	議会運営委員会	12月 4日	総務文教常任委員会
15日	古平町議会行政視察来庁	5日	産業厚生常任委員会
18日	議会報告会（ゆとろ）	6日	第4回定例会
19日	会派代表者会議	10日	議会運営委員会 議員協議会
20日	産業厚生常任委員会 議会広報特別委員会 愛媛県宇和島市議会議長・副議長表敬訪問 来庁	第4回定例会 議員協議会 会派代表者会議 議会広報特別委員会	
25日	議会運営委員会	25日	議会広報特別委員会
26日	総務文教常任委員会町内所管事務調査	1月 9日	議会広報特別委員会
12月 3日	議会運営委員会 議員協議会 第4回定例会 公共施設に関するあり方検討特別委員会 議会広報特別委員会	16日	議会広報特別委員会
		21日	愛媛県宇和島市議会行政視察来庁
		24日	会派代表者会議

議会を傍聴してみませんか

令和2年3月定例会のご案内

予定 3月3日（火）～3月18日（水）

内容 新年度予算、一般質問など

傍聴 本会議や委員会も傍聴できます。

※日程が決まり次第ホームページへ掲載します。

どこからでも議会が見られる

議会インターネット中継

本会議と常任委員会のライブ中継や録画配信をインターネットにより配信しています。詳しくは、ホームページをご覧ください。



ご意見ご感想をお寄せください

議会事務局

〒061-0292 石狩郡当別町白樺町 58 番地 9

TEL 0133-23-3247 FAX 0133-23-4474

E-mail gikai@town.tobetsu.hokkaido.jp

議会広報特別委員会

委員長	秋場 信一
副委員長	鈴木 岩夫
委員	西村 良伸
委員	佐々木 常子
委員	櫻井 紀栄

編集後記

昨年5月1日に令和元年が始まりましたが町議会議員の任期初日ともなり9カ月が経過しました。

また、今回議会だよりの発行が200号となります。更に今年は、入植以来150年も迎えるなど記録に残る事が続きます。

これから始まる3月議会では、令和2年度の予算案の審議や町の政策の基本となる「第6次総合計画」、「まち・ひと・しごと創世総合戦略」などに関する質疑が予定されております。

このような議会の動きを解りやすく皆様にお伝えできるよう、私たちは一層努力して参りたいと思います。

議会広報特別委員会 委員 西村 良伸